

平成28年度学校教育自己診断について

1. 平成28年度における質問項目の選定

前回との比較を通して本校の状況の傾向・問題点(課題)を発見しやすくするために、前年とおおむね同じ診断項目で実施した。

2. 平成28年度実施結果について

(1) 集計結果(保護者・生徒・教職員) ※別紙のとおり

(2) 保護者アンケートについて

アンケート総数は651名 (65.5%) ※前年度643名 (65.0%)

アンケートは昨年度と同様に

良く当てはまる- (A) やや当てはまる- (B) あまり当てはまらない- (C)
まったく当てはまらない- (D) で回答していただいた。

【概要】

- ・ 質問45項目中、26項目でA・B評価の割合が増加しており、全体としては学校の姿勢を評価いただいている。
- ・ 生徒の学校生活への満足度に関する質問については、概ね高い肯定率となっており、生徒が学校に楽しく通学している状況がわかる。
- ・ 部活動は活発である、という評価が増加している反面、部活動と学習が両立できているという評価は減少している。

①アンケート結果の分析について

ア. 全回答の中でA・Bの割合の増加傾向が顕著なもの(10ポイント以上増) なし

イ. 全回答の中でA・Bの割合の減少傾向が顕著なもの(5ポイント以上減)

32 学校からの連絡物は、確実に子どもから届いている。

ウ. 評価が特に高いもの(肯定率が90%以上)

3 子どもは、学校に友達がいると言っている。

9 先生がたは、子どものまちがった行動を厳しく指導している。

10 先生がたは、すべての教育活動において、生徒の人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。

11 枚方高校は、子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。

12 枚方高校は、雰囲気がよく、生徒が生き生きとしている。

16 枚方高校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。

24 枚方高校は、環境、国際理解、福祉ボランティア等の教育課題について取り組んでいる。

33 文化祭や体育祭・宿泊行事などの学校行事には、子どもは積極的に参加している。

41 枚方高校が保護者に出す文書・事務連絡等は、適切である。

43 枚方高校では、子どもに関する個人情報を守られている。

エ. 評価が特に低いもの（肯定率50%未満） なし

②保護者アンケート筆答部分の回答について（101件 前年比6件減少）

ア 学校の様子について

伸び伸びした校風を感じ、生徒が生き生きしている印象を受ける、という意見を数件いただいている。

イ 授業、教員について

授業の内容の充実について、多くの要望をいただいた。

教員について、教え方や質問への対応など、いろいろなご要望をいただいた。

ウ 生徒指導等について

クラブ活動については、熱心な指導への評価がある一方で活動時間が長すぎではないか、という声もいただいた。

学習活動と部活動の両立が難しいという声を何件かうかがった。

エ 学校の施設等について

教室のエアコンの温度管理について、多くのご意見をいただいている。

オ 進路指導について

早期から進路指導をしてほしいというご意見をいただいた。

部活動に参加している生徒が講習に参加しやすくしてほしいというご要望をいただいている。

カ 情報発信について

ホームページ、メールマガジンなど評価するというご意見をいただいた一方、より一層の充実を求める声もあった。

(3) 生徒アンケートについて

回答者総数は961名・在籍者の97%（前年度98%）

評価は

- ・ (A) 良く当てはまる ・ (B) やや当てはまる
 - ・ (C) あまり当てはまらない ・ (D) まったく当てはまらない
- の4段階とした。

【概要】

- ・ 全項目の肯定率の平均は**71.3%**。（昨年は**71.0%**）
53項目中、29項目で肯定率の割合が増加している。
- ・ 学校生活への満足度や進路指導に関する質問については、概ね高い肯定率となっており、学校生活を意欲的に送っている生徒が多いと思われる。
- ・ 授業に関する項目は肯定率が上昇しているものが多く、授業改善に向けた取組みが一定評価されていると思われる。
- ・ いじめへの対応や教員への信頼感に関する各項目については、肯定率は高い数値ではあるが**100%**ではない。
- ・ 地域や他校との交流については、依然として評価が低く、いっそうの取組みの推進が必要である。

- ・ 家庭学習に対する意識が依然として高くなく、より適切に指導・支援していくことが必要である。

○アンケート結果の分析について

- ア. 肯定率の増加傾向が顕著なもの（10ポイント以上増） なし
- イ. 肯定率の減少傾向が顕著なもの（5ポイント以上減） 3項目（昨年度0項目）
 - 7 枚高には「学習と部活動の両立」を大切にする雰囲気がある。
 - 18 枚高は、「クラブ清掃」や「新春走ろう会」への協力などボランティア活動が活発である。
 - 40 授業や部活動、学校行事などを通して、ほかの学校や幼稚園・保育園など地域の人々と交流する機会がある。
- ウ. 評価が特に高いもの（肯定率が90%以上） 2項目（昨年度0項目）
 - 17 枚高は、国際交流のとりくみが活発である。
 - 39 授業などでコンピュータやプロジェクターを活用している。
- エ. 評価が特に低いもの（肯定率が50%未満） 2項目（昨年度2項目）
 - 23 授業では、実験・観察・実習をしたり、学校外へ見学に行く機会がよくある。
 - 40 授業や部活動、学校行事などを通して、ほかの学校や幼稚園・保育園など地域の人々と交流する機会がある。

(4) 教職員アンケートについて

回答者総数は36名・全教員の60%（前年度63%）

評価は昨年度と同様に

- ・ (A) 良く当てはまる ・ (B) やや当てはまる
- ・ (C) あまり当てはまらない ・ (D) まったく当てはまらない の4段階とした。

【概要】

項目は一昨年と同じとした。（79項目）

- ・ 肯定率の平均は**74.2%**（前年度は**79%** 一昨年は**72%**）。肯定率の割合が増加したものは**40**項目。
- ・ 授業改善や指導方法の工夫に関する項目の肯定率がはっきりと上昇し、高評価となっている。
- ・ 学校経営や教育活動に関する諸課題について、校長・教職員全体で一定以上の意識共有ができていると思われる。
- ・ 教科の学習活動以外の部分では、人権課題への取組みや、読書指導・図書館活用についての評価が低いなどの特徴がある。

○アンケート結果について

* 肯定率の高いもの（90%以上）

- 9 各教科において、教材の精選・工夫を行っている。
- 15 グループ学習を行うなど、学習形態の工夫・改善を行っている。
- 20 生徒による問題行動が起こった時、組織的に対応できる体制が整っている。

- 23 この学校では、生徒指導において、家庭との連携ができています。
- 47 学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。
- 64 コンピュータ等の情報機器が、授業などで活用されている。
- 67 初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている。
- 68 学校内で他の教員の授業を見学する機会がある。

* 肯定率の低いもの（50%未満）

- 12 この学校では、創意工夫を生かした総合的な学習の時間を実施している。
- 33 学校として、読書指導に積極的に取り組んでいる。

* 肯定率が大きく上昇した項目（10ポイント以上）

- 13 思考力を重視した問題解決的な学習指導を行っている。
- 15 グループ学習を行うなど、学習形態の工夫・改善を行っている。
- 18 評価の在り方について話し合う機会がある。
- 37 人権尊重に関する様々な課題や指導方法について、全教職員で話し合っている。
- 64 コンピュータ等の情報機器が、授業などで活用されている。

* 肯定率が下降した項目（10ポイント以上）

- 30 学校行事が生徒にとって魅力あるものとするために、工夫・改善を行っている。
- 31 生徒会活動を通じて、生徒が民主的な手続きを経て、主体的に活動できるよう学校全体で支援している。
- 36 教育活動において奉仕等の体験学習やボランティア活動が活発に行われている。
- 51 職員会議をはじめ各種会議が情報交換と課題検討の場として有効に機能している。
- 79 校種間連携の機会を設け、教育活動全般に生かしている。